

# オーストラリアにおける先住民族に対する公共図書館サービス ーオーストラリア・ブリスベン市の図書館プログラムに着目してー

山本 藍子

オーストラリアにおいて、オーストラリア先住民の文化が近年見直されつつある。過去には、白豪主義により迫害を受けたという事実もあるが、現在では行政主導の支援活動も始められている。図書館や博物館においても、独自の文化を保護し広くその価値を広めるための取り組みが行われている。

オーストラリアでは、ノーザンテリトリー（北部準州）における先住民に対する公共図書館サービスについての先行研究がある。しかしながら日本においては、オーストラリアの公共図書館に関する研究はほとんどなされていない。そこで本研究では、クイーンズランド州の公共図書館におけるマイノリティである先住民へのサービスを研究対象とする。特に言語教育サービスや文化保護についてどのような活動が行われているか調査し、その結果から先住民に関わる公共図書館サービスの実態を明らかにする。

本研究では、オーストラリア・ブリスベン市の公共図書館を研究対象とする。文献調査とウェブサイト調査を通して、オーストラリア公共図書館サービスの変遷、社会政策および教育政策との関連、文化保護の実態を把握した。次いで先住民族に対する公共図書館サービスに関してブリスベン市の図書館プログラムに着目しながら、サービスの概要を明らかにした。また、メールインタビュー、訪問調査、現地でのインタビュー調査を行うことで、ブリスベン市における公共図書館サービスの実態をより詳細に把握した。

調査の結果、ブリスベン市内にあるクイーンズランド州立図書館では、先住民族の文化を後世へと伝えていくために、独自の文化を保護していること、クイーンズランド州内の遠隔地では、先住民族の児童への学習支援に力を入れていること、図書館利用者の余暇を充実させるために、図書館プログラムを計画および実施していることが判明した。

ブリスベン市内のブリスベン市議会図書館では、先住民族に向けられたサービスをいかに発展させていくか、また学校・自治体の連携をいかに強化していくかが今後の課題である。特に、先住民族に対するバイリンガル教育を公共図書館と学校とが連携をして行っていくことが求められる。公共図書館が、絵本の読み聞かせやプログラムの中に、言語教育を支援するための取り組みを導入することが必要であると結論付けた。

オーストラリアは、各州での政治体制や状況、先住民族の人口に占める割合が異なっている。従って、オーストラリアにおける先住民族に対する公共図書館サービスを総合的に捉えるためには、各州での継続的な調査を行うことが望まれる。

(指導教員 吉田右子)